

## 2025 年度 第 1 回 学内選考のある民間奨学金の申請案内

## 1. はじめに

- ・「学内選考のある民間奨学金」とは、各財団への推薦枠（若干名）が定められている奨学金のことです。大学にて選考し、被推薦者を決定します。学内選考に通過した場合に、各財団に推薦します。
- ・複数の奨学金を同時に募集し、推薦先は各財団の条件にあてはまる学生を順次決定していくため、希望に沿わない財団への推薦が決定する場合があります。ご了承ください。
- ・推薦できるのはひとりにつき 1 財団のみです。
- ・現在掲載のない学内選考が必要な財団について、大学に募集依頼があった際に、追加掲載する場合があります。
- ・その他の民間奨学金情報は、Hoppii の Web 掲示板「その他のお知らせ」に随時掲載します。

## 2. 対象者

- ・原則として、成績優秀でありながら経済的事情により学費の支払いが困難な方
- ・成績要件： 1 年生は高校評定値 4.0 以上、2 年生以上は累積 GPA 2.6 以上
- ・収入要件： 世帯合計収入で、給与収入は 1,000 万円未満／自営業等は所得 500 万円未満
- ・採用になった際には、財団の趣旨を理解し、法政大学の代表としての自覚を持って、学業や財団の行事に取り組み・参加できる方

## 3. 給付金額・採用期間

財団により異なります。特に明記がない限り、給付（貸与）期間は最短修業年限までです。

## 4. 申請方法

申請書類チェックリスト（学生確認用）にある書類を以下のとおり提出してください。

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学 学生センター厚生課 民間奨学金担当 宛

**2025 年 4 月 2 日（水）17:00 必着（持参または郵送）**

郵送の場合は、レターパックライトなどの配達記録をご自身で確認できる方法でお送りください。

普通扱いとする郵便で郵送すると、配達に時間がかかる場合や書類の到着が確認できない場合があります。

## 5. 選考

大学での選考によって、各財団の条件にあてはまる学生を被推薦者として決定します。今回の学内選考で被推薦者になった場合、辞退はできません。また、今後、条件の良い他の奨学財団に申請するための辞退も認められません。

## ・学内面接：4 月 5 日（土）午前

申請書類を確認後、4 月 4 日（金）までに、学内面接の日時を大学 Gmail アドレス（…@stu.hosei.ac.jp）宛に通知します。しかし、場合によっては、書類の内容だけで不採用とする場合があります（その際も通知します）。

面接は 4 月 5 日（土）午前中のいずれかの時間に、市ヶ谷キャンパスで対面で実施します。時間はこちらで指定しますので、申請の時点でこの時間帯の予定を空けておいてください。授業の予定がある場合でも面接を優先できる方が対象です。授業と重なる場合には、厚生課にて担当教員宛の欠席理由を付した文書を作成しますので、希望者は早めに申し出てください。面接結果を 4 月 7 日（月）中までに大学 Gmail アドレス宛に通知します。財団の申請書類提出締め切りの関係で、被推薦者となった方に個別に電話連絡をする場合があります。

## ・財団による選考

最終的な採否は各財団が決定しますので、推薦されても採用されないことがあります。財団によっては面接審査があります。また、採用時期は財団により異なります。

## 6. 推薦決定時の提出書類（予定）

学内選考によって被推薦者として決定した方には、財団提出用の書類を作成していただきます。今回提出していただく書類のほか、下記のとおり財団ごとの書類が必要となります。速やかに提出できるよう、推薦決定後

はすぐに用意に着手してください。期限までに書類を提出できない場合は推薦を取り消します。  
願書に証明写真の貼付が必要な財団もあります。スナップ写真は不可、スピード写真（証明写真機）は可ですが、スーツなどの正装で撮影してください。脱帽、ピアスやイヤリング不可、毛染めによる茶髪等は不可、男子は髭・長髪は不可、女子はロングの場合は束ねた状態。3 か月以内に撮影したもので、裏面に大学名と氏名を記載してください。

## 7. その他

- ・奨学生として採用された場合、継続審査が毎年あります。毎年年度末に、修学状況報告書（成績を含む）を大学および財団に提出する必要があります。詳細は、3 月頃に個別に連絡します。
- ・奨学生は、必ず「奨学生の集い」「交流会」「修了式」等の**各財団主催の諸行事に参加しなければなりません**。財団により異なりますが、年に1～2回程度開催されます。行事の日時と授業が重なった場合でも、財団の行事への出席を優先してください。授業担当教員宛ての欠席理由を付した文書を作成しますので、必要な場合は早めに学生センター厚生課までご相談ください。
- ・留年した場合には奨学生としての資格を失います。自身が奨学生としての資格を失うだけでなく、今後、財団からの推薦枠がなくなる可能性があります。財団は、4 年間で卒業することを期待して奨学金を給付しています。留年し奨学金が廃止になった場合、その分の奨学金で他の学生を支援できたということになります。**採用になった際には、大学の代表としての自覚が必要です**。
- ・留学をする場合、奨学金の受給可否は財団により異なります。本学の派遣留学やSAプログラムによる留学の場合、奨学金の受給が認められる場合がありますが、休学中の留学の場合には奨学金が休止もしくは廃止になる場合もあります。
- ・提出された個人情報、奨学金の選考に必要な資格の審査確認にのみ使用します。また、提出された書類は返却いたしません。ご了承ください。

---

## 【参 考】

学内選考により財団への被推薦者となったあと、財団に提出する書類です。

### **上田記念財団**

※は申請時に提出する書類を流用します

- (1) 奨学生願書（財団指定用紙、縦4.5cm×横3.5cmの証明写真1枚必要）
- (2) 推薦書→大学が作成する際の資料として面談メモを記入すること
- (3) 成績証明書（※）
- (4) 作文（Wordの原稿用紙設定から作成し、指定テーマで800字以内）
- (5) 法政大学総長宛の誓約書

### **日本証券奨学財団**

※は申請時に提出する書類を流用します

- (1) 奨学生願書（財団指定用紙、縦4.0×横3.0cmの証明写真1枚必要）
- (2) 奨学生候補者推薦状（財団指定用紙）  
指導教授による推薦所見が必要。科目担当教員でも可。ただし、依頼できる教員がいなければ応相談
- (3) 成績証明書（※）
- (4) 住民票（※）
- (5) 個人情報の利用に関する同意書
- (6) 法政大学総長宛の誓約書

以 上